OKI WORLD 2026

OKI

海洋・防衛

海の安心と安全を支え、未来へつなぐ

電波も光も届きにくい水中を、音響技術で「見える化」する

海洋に関わる作業や広範囲にわたる海洋監視は、人手不足や技術伝承、現場作業の負荷増大など、多くの困難な課題に直面しています。
OKIは、防衛から民間領域まで「海の見える化」に取り組み、作業の省人化・省力化・遠隔化の技術を活用することで、安全性と効率化を両立し、持続可能な海洋事業を支えるソリューションをご紹介します。

展示ストーリー

「海の安全」から、「国の安全」まで。OKIが描く、未来の海洋プラットフォーム。

OKIは、海洋（民間）・防衛分野でデュアルユースを実現し、新たな可能性をひらきます。
防衛・海洋分野で培った技術に、幅広い領域の知を掛け合わせ、
皆様との共創を通じて、未来をかたちにしていきます。海の未来を支えるさまざまなソリューションをご紹介します。

訴求ポイント

POINT 01

防衛×民間。デュアルユースで支える未来

防衛分野で培ってきた海洋音響・信号処理などのコア技術に、民生分野の技術を掛け合わせ、スピンオフ／スピンオンによる技術の相互展開を進めます。分野を越えた技術活用を通じて、現場の課題に応えるソリューションを創出し、海洋・防衛分野の発展に貢献します。

POINT 02

新たな環境やグローバル市場への挑戦

産官学連携を通じた新たな環境での取り組みや、海外市場へのソリューション展開、新事業の検討など、さまざまな領域で挑戦を続けています。多様な知見や技術を結集し、国内外のニーズを捉えた新たな価値をかたちにします。パートナーの皆様とともに、海の未来を切り拓いていきます。

OKIだからこそ実現できる理由

- **防衛分野で長年培ってきた海洋音響や信号処理などの海や音に関する高度な技術力**
- **スピンオフ／スピンオンによるソリューション実績**
- **防衛分野に限らず、通信・防災・先端技術など幅広い分野で培った技術力と経験**

出展品

ソーナー・ソノブイ　水中音響通信　DAS　静岡市 駿河湾テストベッド・海底基準点
スマート水産業　イメージングソーナー　AI（Lazarus）